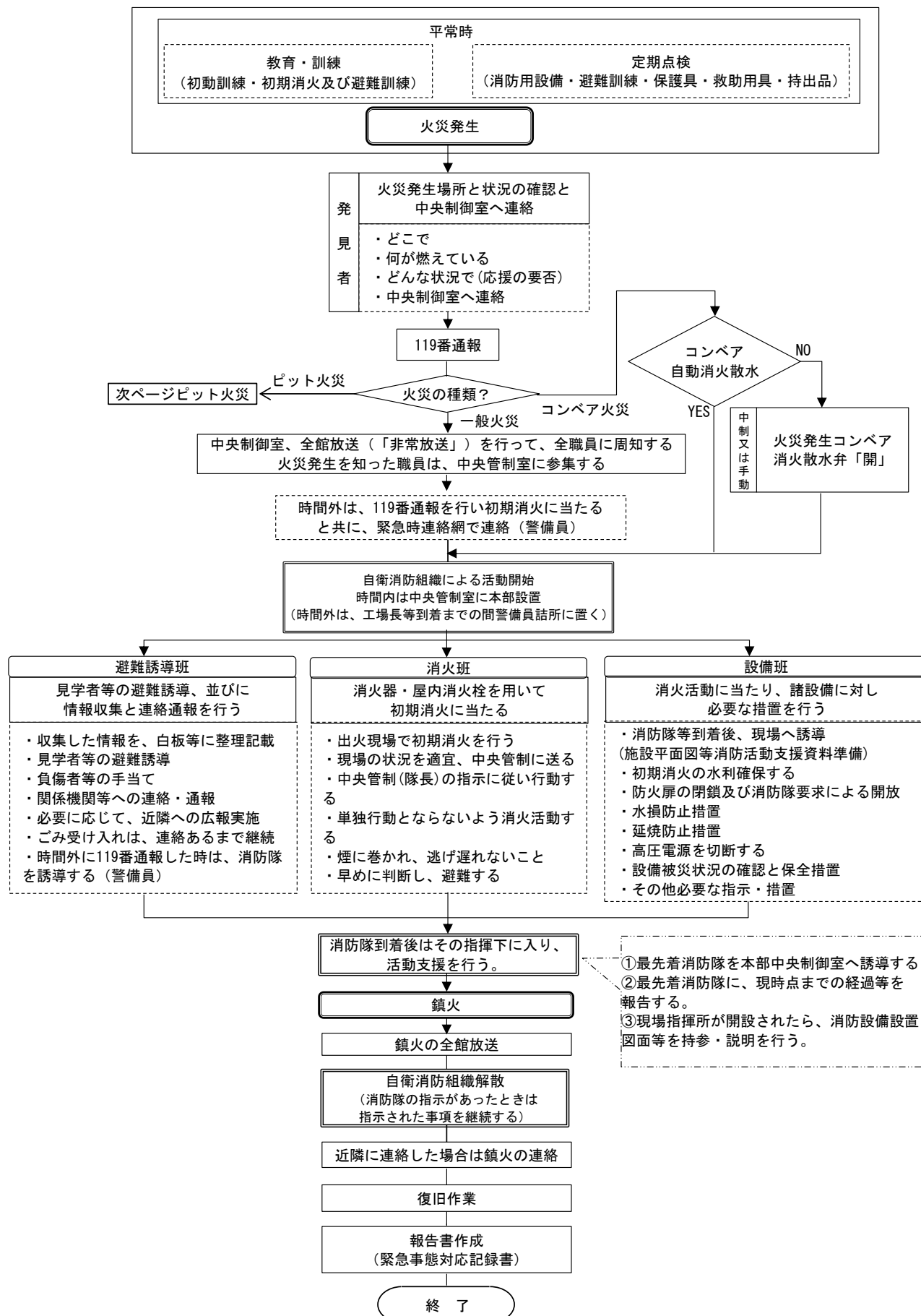
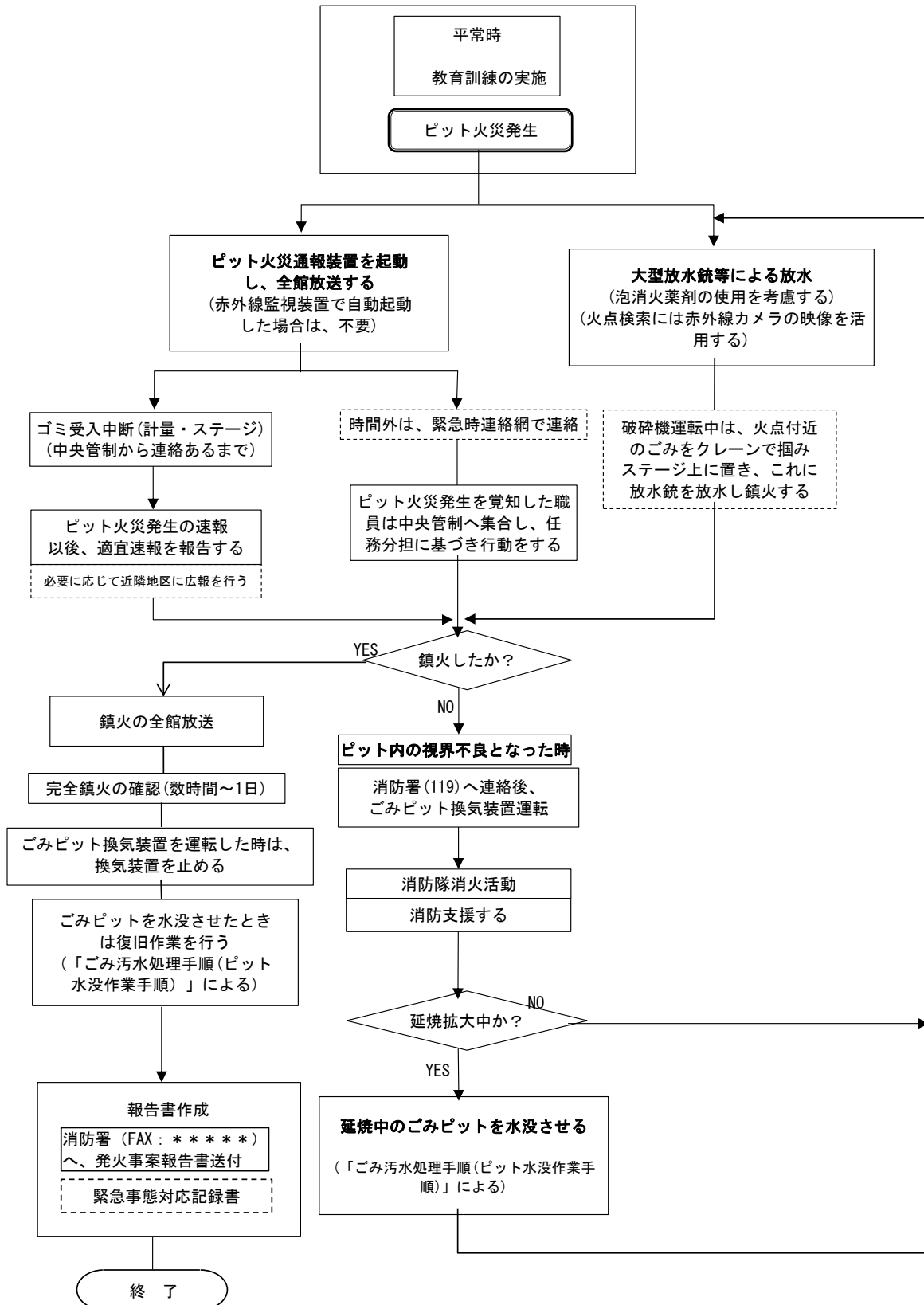


V. 非常事態に備えて準備が必要な図書類

火災時対応フロー～ごみ選別室及び一般火災	制定日	改定日	改訂番号
	H23. 10. 1		0. 00



火災時対応フロー～ごみピット火災	制定日	改定日	改訂番号
	H23. 10. 1		0. 00



	緊急対応マニュアル	分類：災害	PAGE 1/1
種別：火災	記号：	制定：	改定：

順序	項目	隊長（中央管制）	消火班	設備班	避難誘導班	留意点	確認
1	「火災発生」					・火報の作動・火災発見	☐
2	確認・連絡、通報	火災発見の連絡を受け、隊長は119番通報 ごみ受入、設備運転の停止連絡	①火報の場合、現場を確認 ②火災発見時は隊長に連絡			・トランシーバを携帯する ・夜間の場合、発見者が消防通報	☐ ☐
3	一斉放送	一斉放送にて自衛消防隊の活動開始を指示			指示に従い来訪者等避難開始		☐
4	初期消火	①負傷者の有無確認を指示 ②状況を逐次緊急放送	①初期消火（消火器・消火ポンプ・放水銃） ②延焼防止措置（泡消火）		①負傷者の確認と報告	・風上から消火・煙対策 ・火災拡大の場合には、中央制御室に連絡、避難実施 ・消火用高圧ホースの取り扱い	☐ ☐ ☐
5	火災時の操作			①火災発生現場の機器の停止操作を行う ②緊急遮断板設置と調整池ゲート閉止 ③状況に応じ動力電源OFF ④余裕があれば重要機器の水損対策実施			☐ ☐ ☐ ☐
6	通報連絡	①隊長は、火災発生確認と同時に、通報連絡表に従い関係機関に通報する。（平日昼間） ②当直班長は、火災発生確認と同時に、通報連絡表に従い関係機関に通報する。（休日・夜間等）			①救出・救護活動（応急処置による）		☐ ☐
7	待機	①消防署到着次第必要事項を連絡 ②消防署の指示に従い、消火活動に支障がない安全な場所に					☐ ☐

		待機 ③上部から指示があった場合は、可能な範囲で、消火活動に協力する					☐
8	鎮火	①消火後、指示又は許可があるまで現場を保存する ②点検者・人員の把握 ③その他全域の異常の有無確認				・二次災害の防止	☐ ☐ ☐
9	運転再開指示	① 上部管理者の指示がある場合、所長は運転再開の指示をする				・責任者は、運転再開に支障が無いことを現場にて十分確認	☐
10	運転再開	点検確認後、再開					☐
指示事項	実施日時	年 月 日 : ~ :					
	作業担当	班 責任者 作業者 計					
	特記事項	各操作の問題点等について、操作担当者から主任等への連絡事項					
禁止事項		作業時に禁止されている行為（予め記入しておくこと）					
承認		所長印 ☐ 担当班長印 ☐				保管 No.	

注：実施時、対応マニュアル右端・確認欄の□に✓印を記入する

火災報告連絡票(初動時)

第 1 報

受付時刻	平成____年____月____日()AM・PM____時____分		発信者	受信者
火災発生時刻	平成____年____月____日()AM・PM____時____分		発見者	
火災発生場所	ごみピット	☐ 不燃系ごみピット ☐ 粗大系ごみピット		
	ごみ選別機械室	☐ 搬送コンベア ☐ 磁選機 ☐ トロンメル ☐ No. ____コンベア		
	その他			
火災発見状況	誰がどのように	☐ ごみ投入中 ☐ 定期点検中 ☐ ごみ詰り点検中 ☐ その他		
火災状況	燃えている物	☐ その他・不明		
	火災の状況	☐ 視認できず ☐ 火炎小 ☐ 火炎大 ☐ その他・不明		
	煙の状況	☐ 無 ☐ 有 ☐ その他・不明		
	延焼・拡大の状況	☐ 無 ☐ 有(どこへ_____) ☐ その他・不明		
	応援の要否	☐ 無 ☐ 要(どこへ_____) ☐ その他・不明		
	その他			
	被災者の有無	☐ 無 ☐ 有(氏名_____)以上 名		
対応状況	放水状況	開始時刻 AM・PM____時____分 放水場所_____現場指揮者_____他_____名		
	ピット受入状況	☐ 受入中 ☐ 受入停止 AM・PM____時____分		
	破砕機運転状況	☐ 運転中 ☐ 運転停止 AM・PM____時____分		
	避難状況	避難完了 AM・PM____時____分 (____名)		
場内放送 (____時____分)	【以下の例文を、状況に応じて選択して全館放送する】 ただいま、_____で火災が発生しました。 ①ステージ担当者は、ごみの受け入れを中止してください。 ②中央管制室に対策本部を設置いたしますので、各班員は中央管制室に参集してください。 ③見学者は、* * へ避難してください。 ④エレベータの使用は禁止します。			
消防通報 (____時____分)	通報文 ただいま、住所* * のごみ処理施設で火災が発生しました。消防隊の派遣を要請します。 火災の状況は、* * * (上記参照し説明)です。			
関係部署へ連絡	☐ * * 課 TEL_____ (____時____分) ※鎮火まで概ね 30 分ごとに連絡 ※ 搬出車両に影響がある場合は、搬出先公所・運搬委託業者に直接連絡する。			

火災報告連絡票(続報)

第 報	
受付時刻	平成____年____月____日()AM・PM____時____分 発信者 受信者
状況等	☐ 鎮火連絡 鎮火時刻 AM・PM____時____分
	☐ 延焼阻止 阻止時刻 AM・PM____時____分
	☐ 状況連絡 延焼状況・類焼状況等
対応状況	放水状況 開始時刻 AM・PM____時____分 終了時刻 AM・PM____時____分 放水場所_____ 現場指揮者_____ 他_____名
	ピット受入状況 ☐ 受入中 ☐ 受入停止中 ☐ 受入再開 AM・PM____時____分
	破砕機運転状況 ☐ 運転中 ☐ 中断・停止 AM・PM____時____分
	消防署 通報時刻 AM・PM____時____分
	換気装置運転 運転時刻 AM・PM____時____分
	119番通報 通報時刻 AM・PM____時____分
	高圧電源遮断 遮断時刻 AM・PM____時____分 (*号系 ・ *号系)
	その他
放送文 (____時____分)	【以下の例文を、状況に応じて選択して全館放送する】 ① _____ で発生しました火災は、鎮火しました。 ア ごみの受け入れは、連絡するまで中断してください。 イ ごみの受け入れを _____ ピットで再開してください。 ② _____ で発生しました火災は、_____ で放水中です。 ア ごみの受け入れは、連絡するまで中断してください。 イ コンテナ監視室勤務の職員は、工場棟1階の各設備を調査し、火災の発生の有無を対策本部へ連絡してください。 ウ 設備班員は、 _____ 系の高圧電源を遮断した後、工場棟2階以上の各設備を調査し、火災の発生の有無を対策本部へ連絡してください。 ③ _____ で発生しました火災は、_____ へ延焼拡大中です。 ア ごみの受け入れは、連絡するまで中断してください。 イ ごみピットを水没させますので、設備警戒班は水没操作を行ってください。 ウ 119番通報しました。 _____ は、消防到着時 _____ へ誘導してください。 エ 消火作業中の消火班員は、直ちに撤収してください。
関係部署へ連絡	☐ **課 (____時____分) ※ 鎮火まで概ね30分ごとに連絡

緊急時に必要な図面・図書類の保管リスト

承認	確認	作成
年 月 日	年 月 日	年 月 日

施設名： _____

	図書・図面類の名称	緊急時の種類	保 管 場 所	摘 要
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

例 示

緊急時に必要な図面・図書類の保管リスト

承認	確認	作成
年 月 日	年 月 日	年 月 日

施設名： _____

	図書・図面類の名称	緊急時の種類	保 管 場 所	摘 要
1	仕様書		3 階図書室書棚 A	
2	設計計算書			
3	施設全体配置図	全緊急時	2 階中央制御室書棚	
4	主要平面図、断面図、立面図	全緊急時		
5	各階機器配置図	全緊急時		
6	主要設備組立平面図、断面図	全緊急時		
7	計装制御系統図	全緊急時		
8	電気設備図	火災時		
9	配管設備図	火災時		
10	消防設備図	火災時		
11	建築構造図	火災時		
12	建築設備機械設計図	火災時	3 階図書室書棚 A	
13	建築電気設計図	火災時		
14	構造設計図			
15	機器台帳			
16	使用薬品等リスト	火災時	2 階中央制御室書棚	
17	指定可燃物・危険物貯蔵施設概要	火災時		
18	指定可燃物・危険物貯蔵施設記録	火災時		
19	灯油・高圧ガス等配管概要	火災時		
20	灯油・高圧ガス等貯蔵記録	火災時		
21	事故防止マニュアル	全緊急時		
22	日常機器点検マニュアル			
23	電気事業法関連図書			
	保安規定			
	設備概要			
24	消防計画	火災時		
25	防災計画	火災時		
26	危険物取扱基準			
27	その他必要な図書類			
28				
29				
30				

保有ガス・薬品等リスト

承認	確認	作成
年 月 日	年 月 日	年 月 日

施設名：_____ 棚卸年月日：_____年____月____日

1. 危険物・可燃物

No.	名 称	用途	適用法規制等	貯留場所	許容最大貯蔵量	棚卸時貯蔵量
1					Kℓ	Kℓ
2					kg	kg
3						
4						
5						

2. 高圧ガス類

No.	名 称	用途	適用法規制等	貯留場所	許容最大貯蔵量	棚卸時貯蔵量
1					m ³	m ³
2						
3						
4						
5						

3. 薬品類

No.	名 称	用途	適用法規制等	貯留・保管場所	許容最大貯蔵量	棚卸時貯蔵量
1					Kg	Kg
2						
3						
4						
5						

4. 分析室用薬品類

No.	名 称	用途	適用法規制等	貯留場所	許容最大貯蔵量	棚卸時貯蔵量
1					ℓ	ℓ
2						

3						
4						
5						

保有ガス・薬品等リスト（例）

承認	確認	作成
年 月 日	年 月 日	年 月 日

施設名：_____ 棚卸年月日：_____年____月____日

1. 危険物・可燃物

No.	名 称	用途	適用法規制等	貯留場所	許容最大貯蔵量	棚卸時貯蔵量
1	灯油	補助燃料等	消防法：危険物第四類第二石油 類非水溶性液体、指定数量 1000L 危険等級Ⅲ	1号炉横 地下タンク	10 Kℓ	8 Kℓ
2	活性炭	ダイキシン類除去装置	消防法：指定可燃物、10,000kg 以上 粉じん障害防止規則	1階 薬品貯留ヤード	12,000kg	7,000kg
3						
4						
5						

2. 高圧ガス類

No.	名 称	用途	適用法規制等	貯留場所	許容最大貯蔵量	棚卸時貯蔵量
1	窒素	遮断弁用		1階 危険物保管庫	m ³	m ³
2	二酸化炭素	消火設備		1階 危険物保管庫		
3	L P G	補助燃料		1階 危険物保管庫		
4	アセチレン	溶接・切断		1階 危険物保管庫		
5	酸素	溶接・切断		1階 危険物保管庫		
6						
7						
8						
9						

3. 薬品類

No.	名 称	用途	適用法規制等	貯留・保管場所	許容最大貯蔵量	棚卸時貯蔵量
1	消石灰	塩化水素除去装置		1 階 薬品貯蔵庫	Kg	Kg
2	アンモニア	脱硝装置		1 階 薬品貯蔵庫		
3	液体キレート	飛灰処理設備		1 階 薬品貯蔵庫		
4						
5						
6						
7						

4. 分析室用薬品類

No.	名 称	用途	適用法規制等	貯留場所	許容最大貯蔵量	棚卸時貯蔵量
1	塩酸	分析用		2 階 分析室保管庫	ℓ	ℓ
2	硫酸	分析用		2 階 分析室保管庫		
3						
4						
5						
6						
7						

爆発発生時のチェック表

平成 年 月 日

発生時間	AM・PM 時 分	確認時間	AM・PM 時 分	確認者	
火災発生の有無	爆 発 直 後 : 有 / 無	有の詳細			
	爆発 ____ 分後 : 有 / 無				
	爆発 ____ 分後 : 有 / 無				
	爆発 ____ 分後 : 有 / 無				
	爆発 ____ 分後 : 有 / 無				
扉の開閉の可否	可 / 否	否の詳細			
照明機器の破損・脱落等の有無	有 / 無	有の詳細			
壁・床等建物の破損・亀裂の有無	有 / 無	有の詳細			
ガラス類の破損・散乱の有無	有 / 無	有の詳細			
配管・配線類の切断・破損の有無	有 / 無	有の詳細			
蒸気・水・薬液・油等漏れの有無	有 / 無	有の詳細			
機 器 類 の 脱 落・ずれ・破損等の有無	有 / 無	有の詳細			
その他特記事項	有 / 無	有の詳細(廊下・階段等の状況)			

地震発生時の施設点検表

平成 年 月 日

室 名		確認時間	時 分	確認者	
扉の開閉 の可否	可 ／ 否	否の内容			
火災発生 の有無	有 ／ 無	有の内容			
照明機器 の脱落等 の有無	有 ／ 無	有の内容			
壁・床等建 物の亀裂・ 破損の有無	有 ／ 無	有の内容			
ガラス類 の破損・散乱	有 ／ 無				
配管・配線 類の切断・ 破損の有無	有 ／ 無	有の内容			
蒸気・水・ 薬液・油等 漏れの有無	有 ／ 無	有の内容			
機器類の脱 落・ずれ・ 破損の有無	有 ／ 無	有の内容			
その他特記 事項	有 ／ 無	有の内(廊下・階段等の状況)			

事故・災害情報報告書

【第 報】

報告者	氏名		係	
報告日時	平成 年 月 日 時 分 (24 時間表示)			

1	事象 (該当に○)	火災	爆発	地震	停電	断水	落雷	台風	洪水	人身	設備	車両	漏洩流出 (灯油・薬品・消石灰・汚染物)
2	発生日時	平成 年 月 日 時 分 (24 時間表示)											
3	発生場所	_____ 棟 _____ 階 箇所の詳細：											
4	被害状況 (規模)	物的被害	建屋： _____ 設備： _____ その他： _____										
		人的被害	負傷者の有無及び人数： 無 ・ 有 (人) 部位： 頭 ・ 首 ・ 胸 ・ 腹 ・ 腰 ・ 手 ・ 足 ・ 全体 ・ その他 () 容態： 切傷 ・ 打撲 ・ 骨折 ・ 出血 ・ 意識不明 ・ その他 ()										
5	対応状況	一斉放送	災害発生 ・ 状況報告 ・ 避難開始 ・ 避難場所 (計量棟前・ _____)										
		消火状況	火災 (縮小・拡大) ・ 鎮火										
		避難状況	_____ 棟 (人 / 人) _____ 棟 (人 / 人) _____ 棟 (人 / 人) 合計 (人 / 人)										
		救護状況	救護人数 (/) ・ 医療機関への搬送人数 (人) 搬送者氏名 (. . .)										
		出火防止	危険物設備及び装置 (運転/停止) ・ 危険物設備バルブ (開・閉)										
		流出防止	危険物設備バルブ (開・閉) ・ 緊急遮断板 (開・閉) ・ 調整池ゲート (開・閉) 防止策：オイルフェンス・吸着材・吸着マット・中和剤・土のう・その他 ()										
		(その他) 収集車への周知 (市町・業者)、関係業者への周知 (委託業者・工事業者等) 見学予定者への対応 (未・済)											
6	関連機関へ通報	消防 (消防・救急) ・ 警察 ・ 労基 ・ 県 ・ 構成市町											
7	その他	車両事故時 (物的等) の加害者氏名 (. . .) 被害者氏名 (. . .)											

事 故 等 報 告 書 （ 第 次 ）

平成 年 月 日

関係者 室・部・課長 様

現地対策本部長（環境部長・施設課長）

発生日時		平成 年 月 日・午前/午後 時 分頃	
発生場所			
事故の種類 (爆発・火災等)			
事故の状況			
原因（推定）			
被害 状 況	人身事故	有 ／ 無	
	機械設備 (含電気設備)		
	建築設備		
被害金額（見込み）			
復旧期間の見込み (業者手配状況他)			
備考			